

## 支援の背景

《 Kさん 》服への拘りが強く好きな洋服は何日も着替えずに過ごされています。着替えの声掛けすると着替えが嫌いなKさんはいつも怒って着替えることができません。お風呂の時も服を脱ぐと好きな服を着替えの中に隠して後でこっそりと着られます。そこで着替えていないことを注意するとまた怒り出します。その為次第に服は汚れちやうとにおいがすることもあります。またせつかくのお気に入り服が傷んで着れなくなることもあります。衛生面で病気の心配もあります。

## 支援の内容

タンスの整理から始め、外出用の服と普段着を分け外出着は職員が整理するようにする。着替えを勧めるときにはKさんが好まれる言葉遊びをしながら声掛けを行っていく。興奮状態になったときはしばらくその場から離れ職員を替えて声掛けを行う。着替えた後の服をタンスに隠されることがあるのでKさんが部屋から離れた時を見計らって服を選択に出すようにする。お風呂の時も洋服に意識が行かないように言葉遊びをし、ほかの職員が隠した服を選択に出すようにしている。



キャプション①

## わかったこと

言葉遊びをしながら着替えの声掛けをするとあまり怒ることなく着替えられるようになった。だが職員全ができていくわけではなく支援の統一はできていない。統一した支援ができるようにする為には落ち着いた環境を作り出すことが必要である。

## これから

Kさんが好まれる言葉遊びを職員が周知するように環境を整え、外出が好きなので定期的に外出を計画し老人ホームに入っておられる大好きな母親との面会が難しいため母親の写真写真立てに入れ部屋に飾って見て様子を見ていこうと思う。

### 現状

下着交換の時は下着類は着替えられるが、気に入った上着やスポンは着替えようとされない。入浴時も後から新しい服を洗濯に出し、隠しておいた汚れた服をそのまま着られる。

声掛けを行うとその場では着替えられるがしばらくするとまた同じ服を着られる。

特定の支援員の声掛けで不安定になる事がある。

数回声掛けすると不機嫌になり大声を出したり他害、破壊行動につながる事がある。



### 効果の確認

